



小名濱商港埋立地 大小八百立坪沈下

二千坪の區域に巨る數ヶ所 復舊費一萬圓の見込み

昨日に於ける二十日の荒れは石城地方の被害は比較的軽少で済んだが海岸地に逆まき波浪は相當に物凄く、監視所土木關係では工事の勿來町方面、植田町小濱兩漁港共緊急防衛で無事なるを得、江名仲の作、豊間海岸等も難であつた中に四倉海岸では修理中の磯岸が崩壊した、次の沈下が約二千坪の區域に亘つて八百坪程の陥没容積に達し此の復舊工費一萬圓を要するに於て築堤を囑む怒濤の狂風が

常磐線と磐越線に 徒歩の連絡三ヶ所

阿武隈川と那河川の鐵橋地 熱海、上戸間の土砂崩壊

近年無比の颱風に襲はれた鐵道の昨日の運行一時休止は午後から漸く復舊したが打續いた大雨と翌日の荒天は前回の大水で應急修理中のものへ再び被害せる爲め左記各所を徒歩連絡その他で運轉してゐる

土砂崩壊

石川湯本線 今日正午復舊

平野からの上り方面次城縣那河川鐵橋被害のため勝田水戸間六キロ徒歩連絡：明日正午復舊の見込み
下り方面阿武隈川鐵橋修工假橋架設のため互理、岩沼間自動車連絡(自動車賃)

平市内の田畑被害 夏井川の増水にて

昨日の暴風に振落された梨 赤井村で損害五百圓

數日來の降雨に引續いて二百十日の時化に見舞はれた石城地方は比較的雨量が少なかつたので表土の飽和状態に達せず従つて山崩れの被害は極めて少なかつたが平市西平野の字曲田内夏井川沿岸の桑園と大根立毛の畑五町歩(改修講岸堤防内)が同河川の出水に押流されて全く跡形もなくなり此の損害一萬圓と唱はるれ次へで赤井村方面の果樹園(梨)は暴風に振落されて大被害を蒙つて損害約五百圓また神谷村鎌田内夏井川に架かる平神橋下岸に沿ふ水田五反歩と桑園五反歩が同河川の増水に浸水し開花中の稲作損害約五十圓と云はれてゐる

種牡馬検査

十三年度の 種牡馬検査

十三年度の定期種牡馬検査は来る十月左記日割で本縣種馬所長渡川技師、同種畜場川河原田技師により石城産馬組合三森技師立會で行はれるが郡産馬の現在種牡馬は貸下げ國有五頭、縣有十一頭、聯合會有十一頭、組合有三頭、個人有二頭の合計三十二頭で毎年産駒數八百頭を上げてゐる

戦地亡び行く國の挽歌

便一入哀れに御座候

また司令官殿よりは感狀を受け身に餘る光榮を將兵寮しく感泣致し居り候、徐州城内は我が益撃に見る影もなき惨狀を呈し皇軍は天を蔽ふて物すぎ限り敵の死体は衆々として道路家庭に

俵米共販

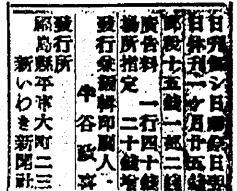
昨日の 俵米共販

前日より若干高石城郡産米昨日の俵米共販は二百十日の荒天から若干の買氣高を示し約二十名の競争入札の結果前日より幾分の高値で取引された相場は左記の如くである

井上氏重態

井上氏重態

平市會議員、同消防組頭井上茂作氏は去る七月以來病氣のため自宅療養中であるが最近に至り肋膜炎を併發し醫師の手當に盡してゐるが今日に至り病とみに重なり危篤に陥つたので七十才の老翁を近親に護られてゐるが午後には稍々小康を得たる模様である



小名濱の花賭博

小名濱字定西漁夫田口亮三(三)方へ去る三十一日夜泥棒が入つたと其筋に届出た者あり警官が急遽駆けつけたところ同家に於て町内の齊藤昌平(五)と長谷川もん(七)兩名が花賭博をなしてゐたので檢査された

坑夫の鐵屑泥

坑夫の鐵屑泥

石城郡磐崎村の上湯長谷長倉坑夫平子菊之助(三)は一昨年十月から今年七月までに同坑から鐵屑及び古レール等二十餘件被害額百圓を窃取したこと發覺平署に檢査された

傳賃檢診

傳賃檢診

來十六日から石城産馬組合第三回傳賃馬檢診は三森技師により来る十六日より二十七日間互に行はれるが日割左の如し

青果市況

青果市況

高瓜(三本)	高値	安値
長茄子(百々)	1,000	800
丸茄子(百々)	800	600
牛蒡(百々)	600	400
人参(百)	500	300
大根(十本)	500	300
長大根(十本)	500	300
南瓜(百)	500	300
西瓜(百)	500	300
トマト(百)	500	300

歸省漫筆

目黒より 勿來庵へ

諸根生

乃で理學者でもない私には龍燈に由縁ある郷土の出身の爲、既に四五年前から、其の千古の謎として、永らく我が國の法話 神話に傳へて來た、斯る自然の發光物たる龍燈とするも、別に學者にとつては、聊か郷土研究家への土

へば亡び行く國の挽歌は一入悲しく感じ申候、我達は入城寸前の船もなく二十一日直ちに敗走の敵を龍海線に沿ふて追撃いたし不眠不休を續けること四十日余日風沙雨、泥濘を冒したる暴風なる彼等は我が龍燈を阻むべく黄河を切り濠を以て我れに抗する爲めに泥濘濁流胸部に達する有様にて艱苦欠乏は申上ぐる言葉もこれなく候、此の二ヶ月余の難戦苦闘を纏て目下はこの〇〇州に去る七月十五日より待機いたし居る次第候、もとより草むす屍を覺悟する身に候へば何等苦勞とは思へ申さず今後の戦ひ毎に一段の効力をもちて御奉公申上げ御後皆々様の御芳志の万分の一には御座へ申したく決意に御座候間何卒御安心下されべく候、右亂筆不文ながら御禮かた々、近狀を御報申上候、

五日同村黒田一〇 二十
六日同村南大平、入旅人六
四 二十七日同村夫村荷路
夫一〇 二十八日貝泊、
戸草六一 二十九日石住村
石住、厥平三五 十月二日
川前村上柳賣、下柳賣、五
味澤、山下谷一五 三日
同村高部、外門、川前、志
田各一〇 四日同村小白
井六〇 五日上小川横川、
内倉四五、六日同村戸渡四
五、十六日箕輪村大和、柳
小屋五〇、十七日同村高野
三九、十八日永戸村渡戸、
合戸二〇 十九日同村上
永井、下永井一九、二十
日澤渡村下市萱一〇、二
十一日同村上市萱、中寺五
九 二十四日三坂村差懸六
一 二十五日同村下三坂一
〇〇 二十六日三坂村中三
坂八〇 二十七日三坂村上
三坂一〇〇 合計二四二二
頭(以上)

稱ある其のものに就いて知悉したのであるが、忙しき間に發表の機会もなく、今日に及んだ始末の所、此の夜の老母が、赤井嶽の信心講より、はしなくも忘れかけてゐた私の之が記憶を新たに起した所である。

私は歸郷たに、何等か本紙、其の他の郷土關係紙、誌等を通じて断片的に述べる所には、聊か郷土研究家への土

高野屋洋行

高野屋洋行

農業

萎縮病

(上) 折らして防ぐ

甲府市農會では果年相當の被害を蒙る葡萄の萎縮病について其の原因並びに豫防方法等の通達を調査研究に成功するとともに之れが豫防の方法を發見して今後葡萄栽培者に對して此の方法の徹底に努めることとなつた、葡萄萎縮病の原因は、(1)施肥量の減少(2)暑候の不順、(3)數年來の災害による樹の損傷、(4)前年の收穫量が樹勢に對し比較的に多量であつたこと(5)落葉の早すぎること、(6)剪定の適否等で縣下各地につき調査の結果は、

- ◇土壌の乾燥關係(乾燥)調査園數七、發病歩合五七・四三(濕地)調査園數三二、發病歩合六六・三四
- ◇肥料の施用量關係(多)調査園數二五、發病歩合四四乃至五六(少)調査園數一五、發病歩合九三・一七
- ◇有機質の施用關係(多)調査園數一六、發病歩合四四乃至五六(少)調査園數二五、發病歩合七三・二八
- ◇樹齡關係(老)十年以上調査園數二三、發病歩合四三・一七(若)十年以上調査園數一三、發病歩合八四・一六
- ◇剪定關係(長)六節以上調査園數一九、發病歩合四三乃至五七(短)六節を短縮す調査園數一三、發病歩合八四・一六
- ◇葉部散布關係(多)三四以上調査園數一九、發病歩合

八七・六三(少)二回以上調査園數二一、發病歩合八六乃至一四となる。

正確な体温計なる寒暖計(種各)計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊藥局

牛も豚も優良品の自慢
肉の御用命は **三三三屋** 平市田町

◆一覽印刷物も御引受致します
新しいわき新聞社

品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名	品名
月カワレツ	チキン	チキソ	チキソ	チキソ	チキソ	チキソ	チキソ	チキソ	チキソ
水エビ	ハヤシ	ハヤシ	ハヤシ	ハヤシ	ハヤシ	ハヤシ	ハヤシ	ハヤシ	ハヤシ
木	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム
金	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム
土	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム
日	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム	オム

債券 公債 兩替 金融
多田井質店
平市大工町 電話五九二番

御婦人用 御子様用
陳列 簡單衣 豊富
ツルヤ 平市 電話一四〇

大河内 整形科醫院
平市搔搔小路 電話五八八番

特にマルトモのランチは...
RESTAURANT MARUTOMO
堂食モトルマ 平市停車場通

外科一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
晝夜 北川外科
平市新川町二七(電話六四四)
北川芳夫 醫師 三浦常保 技師

和洋銅鐵、金物問屋
釜屋商店 九九・九電

靴の修理は「革の素」で
昭理化學研究所 平市大町二十三

診療科目
一、齒科一般
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院 平市田町(松月堂向ヒ) 電話五〇九番

平病院 (平市元共濟病院跡) 電話六四一番
院長 醫學博士 鈴木定藏
小兒科 部長 鈴木定藏
内科 部長 佐藤幾要
皮膚泌尿器科 部長 高橋俊幸
物理療法科 部長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平

サロシ
町平 電話二五三番